

史料群番号 27

史料群名	こうのえいじ 河野栄二家文書	旧所蔵者	河野栄二
採訪時住所	茨城県行方郡武田村帆津倉		
現在の住所	茨城県行方市三和		
採訪年月	昭和27（1952）年8月		
史料の年代	寛保3（1743）年～文政11（1828）年	史料の総点数	16点
年代の内訳	近世 16点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

採訪の書類に寄贈とあり、史料点数は10点と記されている。現在、中央水産研究所に収蔵されている史料は16点だが、これは整理の方法によるもので、おそらく、採訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

武田村帆津倉（ほつくら）は、近世から明治11年まで行方郡帆津倉村で、その後三和村の一部となり、明治22年に武田村に含まれた。昭和30年に北浦村となり、平成17年に行方市となった。河野家については「漁業制度資料目録 第9集」に「旧家、充分明らかではないが、名主格以上の富豪であり、幕末には大きな勢力を持っていたと思われる。村の借金を立て替えた文書等数点のみ寄贈していただいた。その他借金証文が相当数保存されている。最近まで醤油業を手広く営み有名であった」と記している。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

